

# 令和7年度 第1回 宗谷管内学力保障会議

**目的** 宗谷管内の児童生徒の学力保障に向けて、市町村教育委員会、学校、教育局等が一体となって取り組むための目標や方策等について協議を行い、学力保障の取組の充実を図る。

**開催日** 令和7年5月21日（水）13:30～15:30 **方法** Web会議システム（ZOOM）

**参加者** 宗谷管内市町村教育委員会教育長、宗谷校長会、稚内市校長会、宗谷公立学校教頭会、稚内市公立学校教頭会、北海道高等学校長協会道北支部、E B E協議会指定地域校、宗谷教育局

## 【挨拶】

宗谷教育局長 笠井 浩

- ・「子どもの未来保障～一人一人の子どもを主語にする宗谷の教育の実現～」を今年度の管内教育推進の重点とし、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に取り組んでいるところである。
- ・本会議での説明や協議内容等について、教職員や保護者、地域住民にも理解いただき、学校と家庭、地域、行政が一体となった「子どもの未来保障」の取組を推進してほしい。

## 【説明】

宗谷教育局教育支援課長 山寺 潤

- ・本会議の趣旨等について
- ・「令和7年度宗谷管内学力保障プラン」及び「授業改革に向けた『5つのポイント』」、「宗谷教育局における学力向上に向けた取組」の説明
- ・令和7年度宗谷教育局の取組の方向性について

## 協議1

令和6年度の学力保障の取組及び令和7年度全国学力・学習状況調査から明らかとなった自校の状況を踏まえた今後の取組について

- ・授業改革の取組やICTを活用した子どもを主語にした授業への転換は図られてきているが、結果に結び付いていない現状にある。
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析から、基礎的な知識の定着、記述式の正答率及び問題を読み取る力に課題があることが明確となった。
- ・課題の解決に向けて、自分の考えをもち自分の言葉で書く力、問題を読み取る力が必要であることから、授業では、自分の考えを文章で表現する機会を増やす必要がある。

## 協議2

学力保障に向けた教育委員会、学校、教育局の取組の方向性について

- ・宗谷教育研修センター等を活用し、先生方に情報活用能力の育成等について研修等を行うことをとおして、子どもたちの指導に生かしてもらえるように取り組んでいる。
- ・全国学力・学習状況調査の結果から明らかとなった課題を踏まえ、学校全体で課題解決に向けた授業改革に取り組むことが大切である。
- ・教育局の取組の方向性では、学校、教育委員会、教育局がそれぞれの立場で取り組む重点事項が明確に示されている。

## 協議3

学力保障に向けた組織的な取組について

- ・コミュニティ・スクールを活用し、地域の教育力を生かすなど市町村全体で学力保障の取組を行うことにより、主体的に学ぶ子どもたちを育成する必要がある。
- ・全教職員が、授業や子どもたちへの支援の方法や関わり方を向上させることにより、より組織的な学力保障の取組としていく。
- ・先生方のニーズに応じた研修を行うことにより、授業観・学習観の転換を図りたい。

【まとめ～児童生徒一人一人の学力保障のために、学力調査問題の分析と学習指導要領の確実な実施を！！～】

教育支援課長 山寺 潤

本会議では、ICT活用、子どもたちの学習習慣の定着や望ましい生活習慣の確立、教育環境の整備など、学力向上に向けた多様な方策が共有された。これらの取組は、学習指導要領が求める資質・能力の育成につながるものである。今回の議論が、教育課題への対応と教職員の指導力向上に生かされることを期待する。

担当者から

本会議では、各市町村教育委員会及び校長会、教頭会における学力保障の取組について御協議いただき、管内の学力に係る現状について共有するとともに、今後の取組について共通理解を図った。学校、教育委員会、教育局が一体となり「子どもの未来保障」のために、それぞれの立場で取組を進め、更なる充実に向けて検証・改善を図っていただきたい。

（学校教育指導班主査 松嶋 涼子）